

JA 静岡厚生連遠州病院 内科(消化器)に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年7月4日

「消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の全国疫学調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5388
研究課題名	消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の全国疫学調査
所属(診療科等)	内科(消化器)
研究責任者(職名)	高垣航輔
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2024年3月1日
研究の意義、目的	Peutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポース症候群の患者数、臨床症状、治療法とその効果、予後を調査し、本疾患の病態の解明、治療法の確立に役立てることを目的とした研究です。
対象となる方	2019年1月1日から2021年12月31日までに Peutz-Jeghers 症候群または若年性ポリポース症候群について医療を受けられた方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、検査結果、治療内容、合併症など
他機関への試料・情報の提供方法	郵送により提供します
研究方法	全国の患者数と過去の診療記録より上記の内容を収集し、臨床症状、治療とその効果、予後との関係性について検討します
共同研究機関名	信州大学(責任者:中山佳子)、自治医科大学(責任者:中村 好一)、京都府立医科大学(責任者:石川 秀樹)、九州大学(責任者:梅野淳嗣)、順天堂大学(責任者:神保圭佑)、三重県立総合医療センター(責任者:内田恵一)、慶応義塾大学(責任者:武田祐子)、日本大学医学部(責任者:山本敏樹)、埼玉医科大学総合医療センター(責任者:石田秀行)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学医学部 小児医学教室 研究責任者:中山 佳子
問い合わせ先	氏名(所属・職名):高垣航輔(内科(消化器)診療部長) 電話:053-453-1111(代)

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、共同研究機関に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

過去に通院又は入院された患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報および研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 性索間質性精巣腫瘍の長期予後・病理標本アーカイブズの構築に関する多機関後ろ向き共同研究

[研究の目的] 希少疾患であるセルトリ細胞腫、ライディッヒ細胞腫、顆粒膜細胞腫を代表とする性索間質性精巣腫瘍の患者さんの手術検体および診療情報をご提供いただき、性索間質性精巣腫瘍の病理学的特徴、臨床的特徴、治療成績や予後を集積し今後の診断精度の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

性索間質性精巣腫瘍の患者さんで、各機関の調査可能開始年から2021年12月の間に精巣摘除術・精巣部分切除術・腫瘍核出術を受けた方

○利用する検体・情報

検体：手術を行った際の組織検体

情報：

- ① 対象者基本情報：年齢、性別、診断名、既往歴、発見の契機、随伴症状、採血結果（腫瘍マーカー、性ホルモン値等）、治療経過、手術日、手術の内容、化学療法実施の有無、実施症例に関しては化学療法の内容、放射線療法の実施の有無、実施症例に関しては放射線治療の内容
- ② 画像検査所見（CT画像、MRI画像）
- ③ 病理結果（前述の如くWEBベースでの利用を想定した病理アーカイブズの作成も行う）
- ④ 経過中の採血結果（腫瘍マーカー、性ホルモン値等）
- ⑤ 再発の有無、再発部位、再発時期、再発時の治療内容
- ⑥ 最終転帰

○送付方法

この研究は、下記の研究機関で実施します。上記の検体は、中央病理解析のため、病理研究事務局である愛知医科大学病院病理診断科（責任者：都築豊徳）、防衛医科大学校病院検査部（責任者：宮居弘輔）に送付します。上記のカルテ情報は、研究事務局である北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室（責任者：安部崇重）に電子的

配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2025年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報・検体を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室 安部 崇重

[共同研究機関名・研究責任者名・機関長名]

No.	共同研究機関	研究責任者	機関長名
1	北海道大学医学研究科腎泌尿器外科	安部 崇重	渥美 達也
2	神奈川県立がんセンター	岸田 健	古瀬 純司
3	市立秋田総合病院	石田 俊哉	伊藤 誠司
4	国際医療福祉大学病院	内田 克紀	鈴木 裕
5	みなと医療生活協同組合 協立総合病院	日比 初紀	飯田 邦夫
6	社会保険 田川病院	矢野 雄太	黒松 肇
7	石川県立中央病院	浦田 聡子	岡田 俊英
8	国立病院機構熊本医療センター	菊川 浩明	高橋 毅
9	横浜国立大学附属市民総合医療センター	湯村 寧	榊原 秀也
10	群馬県立がんセンター	蓮見 勝	鹿沼 達哉
11	平塚共済病院	宇田川 幸一	稲瀬 直彦
12	社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念病院	西松 寛明	平野 美和
13	岩手医科大学附属病院	小原 航	小笠原 邦昭
14	愛媛大学医学部附属病院	菊川 忠彦	杉山 隆
15	岐阜市民病院	米田 尚生	富田 栄一
16	九州大学 (形態機能病理学)	孝橋 賢一	中村 雅史
17	がんセンター新潟病院	小林 和博	佐藤 信昭
18	藤田医科大学	高原 健	白木 良一
19	JCHO 中京病院	辻 克和	後藤 百万
20	労働者健康安全機構 関東労災病院	武内 巧	根本 繁

21	市立札幌病院	三浪 圭太	西川 秀司
22	三重大学医学部附属病院	井上 貴博	池田 智明
23	国立病院機構 仙台医療センター	齋藤 英郎	上之原 広司
24	宮崎県立宮崎病院	黒岩 顕太郎	嶋本 富博
25	獨協医科大学埼玉医療センター	斎藤 一隆	奥田 泰久
26	滋賀医科大学医学部附属病院	吉田 哲也	田中 俊宏
27	JA 静岡厚生連 遠州病院	海野 智之	大石 強
28	兵庫県立西宮病院	岸川 英史	野口 眞三郎
29	大分大学医学部	秦 聡孝	杉尾 賢二
30	京都市立病院	清川 岳彦	黒田 啓史
31	大阪済生会 野江病院	河 源	福田 和彦
32	長野市民病院	加藤 晴朗	池田 宇一
33	県立尼崎総合医療センター	山田 裕二	平家 俊男
34	埼玉県立がんセンター	影山 幸雄	影山 幸雄
35	防衛医科大学校	伊藤 敬一	塩谷彰浩
36	帝京大学医学部	金子 智之	川村 雅文
37	東京大学医学部附属病院	田口 慧	瀬戸 泰之
38	兵庫医科大学病院	山本 新吾	阪上 雅史
39	宮崎大学	向井 尚一郎	帖佐 悦男
40	山梨大学医学部附属病院	三井 貴彦	榎本 信幸
41	弘前大学医学部附属病院	畠山 真吾	大山 力
42	名古屋市立大学病院	内木 拓	間瀬 光人
43	北海道済生会小樽病院	堀田 浩貴	和田 卓郎
44	札幌医科大学附属病院	前鼻 健志	土橋 和文
45	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	小林 一樹	長堀 薫
46	公益財団法人がん研究会有明病院	湯浅 健	佐野 武
47	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	古林 伸紀	藤也 寸志
48	筑波大学附属病院	河原 貴史	原 晃
49	関西医科大学附属病院	齊藤 亮一	松田 公志
50	岩手県立胆沢病院	米田 真也	勝又 宇一郎
51	徳島大学病院	大豆本 圭	香美 祥二
52	東京慈恵会医科大学附属病院	木村 高弘	小島 博己
53	山口大学医学部附属病院	松本 洋明	杉野 法広
54	網走厚生病院	望月 端吾	中野 詩郎
55	JCHO 仙台病院	泉 秀明	村上 栄一
56	友愛記念病院	阿部 英行	加藤 奨一
57	岩見沢市立総合病院	片野 英典	小倉 滋明
58	九州大学病院 (泌尿器科)	柏木 英志	中村 雅史

2022年6月13日（第1.2版）

59	国立がん研究センター中央病院	松井 喜之	島田 和明
60	京都大学医学部附属病院	小林 恭	宮本 享
61	国立大学法人 浜松医科大学	三宅 秀明	今野 弘之
62	秋田大学医学部附属病院	成田 伸太郎	南谷 佳弘
63	大阪公立大学	加藤 実	中村 博亮
64	愛知医科大学病院	佐々 直人	道勇 学
65	気仙沼市立病院	竹本 淳	横田 憲一
66	手稲溪仁会病院	柏木 明	古田 康
67	独立行政法人国立病院機構四国がんセンター	橋根 勝義	山下 素弘
68	八戸市立市民病院	佐藤 真彦	三浦 一章
69	北海道がんセンター	原林 透	加藤 秀則
70	国立病院機構 水戸医療センター	飯沼 昌宏	米野 琢哉
71	国立大学法人富山大学附属病院	北村 寛	林 篤志
72	東北大学病院	山下 慎一	冨永 悌二
73	長野厚生連南長野医療センター篠ノ井総合病院	鈴木 尚徳	宮下 俊彦
74	宮城県立こども病院	坂井 清英	今泉 益栄
75	刈谷豊田総合病院	成田 知弥	田中 守嗣
76	結城病院	瑞木 亨	大木 準

[研究責任者名・所属]

JA 静岡厚生連遠州病院 泌尿器科 診療部長 海野智之

[連絡先・相談窓口]

JA 静岡厚生連遠州病院 泌尿器科

担当医師：海野智之

住所：静岡県浜松市中区中央一丁目1番1号

電話：053-453-1111（代）

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	健診受診者における推定食塩摂取量と糖尿病の関連性に関する検討
目的	健診受診者における推定食塩摂取量が、糖尿病の存在と関連があるかを横断的に検討することと、および糖尿病の新規発症と関連があるかを縦断的に検討すること
対象	2008 年度から 2019 年度までに当院の人間ドックを受診した者
使用するデータ/試料	人間ドックにて実施されるルーチン検査；身長、体重、血圧、脈拍、既往歴、家族歴、合併症 臨床検査値；血清クレアチニン、尿酸、脂質、血糖、貧血、推定食塩摂取量、等
研究期間	西暦 2022 年 11 月 14 日 ～ 西暦 2022 年 11 月 31 日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはありません。 ・ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。 ・ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JA 静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	この調査研究は、JA 静岡厚生連遠州病院健康管理センターのデータを使用するため費用は発生しません。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA 静岡厚生連遠州病院 内科（循環器） 高瀬浩之
個人情報取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強
お問合せ	JA 静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1 号 内科（循環器） 電話：053-453-1111（代）
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

西暦 2022 年 10 月 19 日

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	軽度認知障害及び認知症患者に対し、コグニバイクが身体・認知機能に与える効果の比較検討
目的	MCI 及び認知症患者に対してコグニバイクの認知予防エクササイズが認知機能に与える効果を検討する。また、認知機能以外の身体機能及び神経心理学的検査における効果も同様に検討する。
対象	2021 年 2 月 1 日～2022 年 2 月 28 日の間に JA 静岡厚生連遠州病院回復期リハビリテーション病棟に入院し、入院時の CDR が 0.5 点以上、MMSE が 27 点以下、独歩又は歩行補助具を使用して 10m の歩行が可能な患者様。
使用するデータ/試料	年齢、性別、診断名、既往歴、合併症、入院期間、10m 快適歩行速度、10m 最大歩行速度、二重課題条件下の 10m 快適歩行速度、バランス検査 (TUG)、認知機能検査 (MMSE)、注意機能検査 (TMT-J、Digit Span)、認知行動障害尺度 (DBD13)、老年期うつ評価尺度 (GDS15)
研究期間	西暦 2022 年 12 月 20 日 ～ 西暦 2023 年 2 月 21 日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはありません。 ・調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。 ・調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JA 静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	本研究は、JA 静岡厚生連遠州病院の診療録のみを活用した後ろ向き研究であり、本研究実施のために研究資金が必要となることはありません。また、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA 静岡厚生連遠州病院 リハビリテーション科 大谷 吏穂
個人情報取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強
お問合せ	JA 静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1 号 リハビリテーション科 電話：053-453-1111 (代)
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

作成日：2023年2月2日

「情報公開文書」

当施設は下記の研究に情報を提供しています

課題名：糖尿病患者における膵癌発生リスクに関する後ろ向き観察研究（二次調査）

本研究は東北大学大学院医学系研究科倫理委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、および教育関連施設における糖尿病患者のうち、膵癌を合併した方。

2. 研究期間

2023年2月6日（実施許可後）～2027年9月

3. 研究目的

糖尿病に合併した膵癌患者の実態を明らかにすること。

4. 研究方法

日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、および教育関連施設に対して実施した一次調査（東北大学大学院医学系研究科倫理委員会2022-1-267）で、糖尿病に合併した膵癌症例ありと回答があった施設が対象です。糖尿病患者のうち膵癌を合併した方のカルテに記載された既存の情報の一部を調査票に基づいて集積します。データは下記7に記載の研究機関（東北大学）で学術研究に用いられ、統計学的に解析されます。

5. 研究に用いる情報の種類

病歴、治療歴、生活習慣、採血・尿検査結果等

6. 外部への情報の提供

下記7に記載の研究機関（東北大学）に情報を提供します。情報はどの研究対象者のものであるかが直ちに判別できないように管理されています（匿名化）。

7. 研究組織

研究責任者 正宗淳

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 TEL：022-717-7171

当機関は「既存試料・情報の提供のみを行う者」として上記の研究機関に情報を提供しています。

8. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学

研究責任者 正宗淳

TEL：022-717-7171

当院の担当者への連絡先：

JA 静岡厚生連遠州病院

担当者：鈴木究子

TEL：053-453-1111（代）

2023年3月6日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：非転移性去勢抵抗性前立腺癌の治療法に関する多施設共同コホート研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、JA 静岡厚生連遠州病院病院長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2014年1月1日～2022年12月31日の期間内で、藤田医科大学病院、藤田医科大学岡崎医療センター、藤田医科大学ばんだね病院の3病院、及び共同研究機関・研究協力機関で非転移性前立腺癌に対し薬物療法を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：非転移性前立腺癌の治療法は、新規ホルモン療法薬の出現により、大きな変化を遂げています。しかしながら、これらの薬物の適応を示す明確な指標は存在しません。したがって、実臨床におけるこれら薬剤の使用法、治療の実態及びその治療成績を調査することは、今後の適切な患者選択、薬剤選択、および投与時期の決定にとって一定の意義を有すると考えられます。

方法：藤田医科大学病院、岐阜大学病院、浜松医科大学附属病院、名古屋市立大学病院、およびそれらの関連施設で非転移性前立腺癌に対し薬物療法を受けられた患者さんを対象とし、登録時に臨床・病理学的情報を診療録より取得します。

研究期間：2023年3月13日から2027年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

研究代表機関・共同研究機関と当院との間で、患者さまのデータの受け渡しがあります。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究責任者 藤田医科大学 腎泌尿器外科学 教授 白木良一

研究分担者：藤田医科大学 腎泌尿器外科学 准教授 高原 健

研究協力者：藤田医科大学岡崎医療センター 日下 守、

藤田医科大学ばんだね病院 猿田真庸

共同研究代表者：

藤田医科大学 腎泌尿器外科学 教授 白木良一

共同研究機関

名古屋市立大学病院 腎・泌尿器科学分野

〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

講師 内木 拓

浜松医科大学医学部附属病院 泌尿器科学講座

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

助教 渡邊弘充

岐阜大学大学院 医学系研究科 泌尿器科

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1

准教授 中根慶太

研究協力機関

● 藤田医科大学の関連施設

名古屋掖済会病院（担当者：深見直彦）、

西知多総合病院（担当者：平野泰広）、

名古屋記念病院（担当者：石瀬仁司）

● 名古屋市立大学病院の関連施設

安城更生病院（担当者：黒川覚史）、

豊田厚生病院（担当者：橋本良博）、

海南病院（担当者：窪田裕樹）、

江南厚生病院（担当者：坂倉毅）、

三重北医療センターいなべ総合病院（担当者：安藤亮介）、

名古屋徳洲会総合病院（担当者：秋田英俊）、

西部医療センター（担当者：梅本幸裕）、

東部医療センター（担当者：丸山哲史）

- 浜松医科大学医学部附属病院の関連施設
JA 静岡厚生連遠州病院（担当者：海野智之）、
聖隷三方原病院（担当者：古瀬 洋）、
中東遠総合医療センター（担当者：松本力哉）

- 岐阜大学大学院の関連施設
松波総合病院（担当者：萩原徳康）、
大垣市民病院（担当者：宇野雅博）、
西美濃厚生病院（担当者：岡野 学）、
岐阜県総合医療センター（担当者：高橋義人）、
岐阜市民病院（担当者：米田尚生）、
岐阜赤十字病院（担当者：三輪好生）、
大雄会第一病院（担当者：蓑島謙一）、
中濃厚生病院（担当者：宇野裕巳）

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 腎泌尿器外科学
担当者：高原 健
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
電話 0562-93-2111
e-mail:takahara@fujita-hu.ac.jp

JA 静岡厚生連遠州病院 泌尿器科
研究責任者：海野智之
静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1
電話：053-453-1111（代）

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における 80 歳以上の大腿骨近位部骨折患者の実績指数に関連する因子の検討
目的	対象患者のリハビリテーション開始時における因子の中から、実績指数に影響する因子を検討し、正確な予後予測の一助とすること。
対象	回復期リハビリテーション病棟に入院し、診断名が大腿骨近位部骨折とする 80 歳以上の患者様(入院期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 1 月 31 日)
使用するデータ/試料	年齢、性別、診断名、既往歴、在院日数、体重、血液検査値、10m 歩行テスト、立位バランス検査、握力、等尺性膝伸展筋力、機能的自立度評価法、認知症スクリーニング検査、
研究期間	西暦 2023 年 4 月 24 日 ～ 西暦 2323 年 5 月 15 日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none">・患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはございません。・調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。・調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JA 静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院のデータを使用するため費用は発生しません。また、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA 静岡厚生連遠州病院 リハビリテーション科 尾田 健太
個人情報取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強
お問合せ	JA 静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1 号 リハビリテーション科 電話：053-453-1111 (代)
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	リハビリテーションを実施した COVID-19 患者の転帰先に関連する因子の検討
目的	COVID-19 にて入院し、隔離期間中からリハビリテーションを実施した患者の転帰先と日常生活動作能力 (Activities of Daily Living: 以下 ADL) や基本情報、医学的所見との関連性を調査すること
対象	COVID-19 にて入院し、隔離期間中にリハビリテーションを実施した患者様 (入院期間: 2021 年 5 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)
使用するデータ/試料	年齢、性別、身長、体重、BMI、介護保険制度の利用状況、家族構成、診断名、既往歴、在院日数、入院からリハビリテーション開始までの日数、リハビリテーション実施日数、血液検査値、日常生活動作能力の評価 (Barthel Index)
研究期間	西暦 2023 年 6 月 19 日 ~ 西暦 2023 年 7 月 31 日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none">・患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはございません。・調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。・調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JA 静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	この調査研究は、JA 静岡厚生連遠州病院のデータを使用するため費用は発生しません。また、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA 静岡厚生連遠州病院 リハビリテーション科 山下 浩史
個人情報取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石 強
お問合せ	JA 静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1 号 リハビリテーション科 電話: 053-453-1111 (代)
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	糖尿病患者さんにおける Sick day 時対処法の理解度についての研究
目的	糖尿病患者さんの Sick Day に対する意識を調査することで、Sick Day の際に低血糖や脱水などを予防できる方法を考える
対象	2023 年 3 月から 4 月に当院内分泌内科外来通院中で薬物治療を行っている糖尿病患者さん。
使用するデータ/試料	年齢、性別、糖尿病のタイプ、BMI、HbA1c、診察時に行った Sick Day の時の内服薬やインスリン、他の注射剤に対する診察上の質問結果、糖尿病治療薬、罹病年数を使用する。
研究期間	西暦 2023 年 6 月 20 日 ~ 西暦 2023 年 8 月 31 日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none">・ 患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはございません。・ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。・ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JA 静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究は JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	この調査研究は、JA 静岡厚生連遠州病院内科（内分泌）が行っており、研究費は不要です。特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA 静岡厚生連遠州病院 内科（内分泌） 後藤良重
個人情報取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強
お問合せ	JA 静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目 1 番 1 号 内科（内分泌） 電話：053-453-1111（代）
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

患者さまへ 調査研究へのデータまたは検体使用のお願い

研究課題名	当院大腿骨近位部骨折患者における糖尿病患者の割合と特徴、10年前との比較研究
目的	大腿骨近位部骨折を罹患する糖尿病患者さんの特徴、非糖尿病患者さんとの相違点を明らかにし、今後の生活指導に活かせる点を検討する。また、10年前との糖尿病治療には明らかな変化が起きており、それにより大腿骨骨折頻度に影響が出ているかどうかを検証する。
対象	2010年度から2012年度までに当院に入院された大腿骨近位部骨折で入院された患者さん約450名と、2020年度から2022年度までに大腿骨近位部骨折で入院された患者さん約590名
使用するデータ/試料	カルテに記載された身長、体重、年齢、血液検査結果(HbA1c、空腹時血糖値、食後血糖値)、尿検査(尿糖、尿蛋白)、大腿骨部レントゲン、回復期病棟利用の有無、退院時のADL、退院先について調査する。
研究期間	西暦2023年6月20日～西暦2023年8月30日
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さまの個人を特定できないようにした上で、情報の提出や公開を行います。情報の使用を希望されない方はお申し出ください。研究参加の有無が今後の治療などに影響することはございません。 ・調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。 ・調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利はJA静岡厚生連遠州病院に帰属し、あなたには帰属しません。また、データを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。
倫理審査委員会	この調査研究はJA静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会で審査され、病院長の実施許可を得ています。
利益相反	この調査研究は、研究費用を伴わず、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
研究代表者	JA静岡厚生連遠州病院 内科(内分泌) 後藤良重
個人情報取扱責任者	JA静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強
お問合せ	JA静岡厚生連遠州病院 〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目1番1号 内分泌内科 後藤良重 電話：053-453-1111(代)
備考	

この調査研究は今後の医療の発展に資するものです。ご理解ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

作成日：2023年7月26日

「情報公開文書」

当施設は下記の研究に情報を提供しています。

課題名：急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎の全国調査 2021（二次調査）

1. 研究の対象

急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎、自己免疫性膵炎。

層化無作為抽出法により抽出された全国の診療科を2021年1年間に受療した患者を対象とします。別に実施した一次調査で、対象患者ありと回答があった施設における対象患者は全て二次調査の対象とします。年齢、性別は問いません。

2. 研究期間

2022年10月～2027年9月

3. 研究目的

2021年1年間の全国の診療施設における急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎、自己免疫性膵炎の診療の実態を明らかにすること。

4. 研究方法

日本膵臓学会膵炎調査研究委員会による調査研究です。東北大学大学院医学系研究科消化器病態学教授正宗淳が調査の実務を担当します。

調査方法は前回までの全国調査に準じます。調査対象は2021年1月1日から2021年12月31日までに、急性膵炎、慢性膵炎、早期慢性膵炎または自己免疫性膵炎で受療した患者です。一次調査は、東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認を受け実施中です。一次調査で患者ありと回答が得られた施設に二次調査を依頼します。それぞれの施設の担当者は、診療により得られた既存情報を連結可能匿名化した上で調査票に入力し研究事務局に提出します。集積された情報は統計学的に解析されます。

5. 研究に用いる情報の種類

情報：病歴、治療歴、検査結果データ、転帰 等

どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう管理します（匿名化）

6. 外部への情報の提供

下記7に記載の研究機関に情報を提供します。情報はどの研究対象者のものであるかが直ちに判別できないよう管理されています（匿名化）。

7. 研究組織

研究機関：

研究責任者 正宗淳

東北大学大学院医学系研究科消化器病態学

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7171

当機関は「既存試料・情報の提供のみを行う者」として上記の研究機関に情報を提供しています。

機関名：JA 静岡厚生連遠州病院

機関の長の氏名：大石 強

機関の情報管理者の氏名：高垣 航輔

「ACTH 不応症の国内実態調査による臨床像の解析」(承認番号：M2022-176)に ご協力いただいた方へ

研究課題名 「ACTH 不応症の国内実態調査による臨床像の解析」

承認番号 M2022-176

研究期間 医学部倫理審査委員会承認後から 2025 年 3 月 31 日

研究の意義及び目的

副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 不応症は、承認慢性特定疾病、指定難病(237)です。新生児期発症の場合は嘔吐、哺乳不良、痙攣、光線療法を有する新生児黄疸などが見られます。乳幼児期には低血糖による痙攣、意識障害をきっかけに診断される場合が多く、感染症がその誘因となることもしばしばです。

発症した後は生涯に渡り副腎皮質ステロイドの補充が必要であるため、患者さんの負担は大きくなっています。一方希少疾患であるため、その臨床像の詳細はまだ不明です。

本研究は、前段階として、日本内分泌学会、小児内分泌学会評議員の予備調査より、全国 14 施設で、20 名の患者さんがいることが把握されております。

すでに把握されている、20 例について、その臨床像の詳細について診療録をベースに後方視的に臨床情報を収集し、本疾患の実態を明らかにします。

試料・情報の利用方法

対象者

本研究は、本学医学部倫理審査委員会の承認を得て行われるものです。ご参加いただくのは、全国の施設で、予備調査で把握された ACTH 不応症と診断された 20 例の患者さんが対象です。主治医より二次調査について承諾を得られなかった患者さんは除きます。

研究に用いる情報

各提供機関において診察を受け、患者さんからすでに同意をいただいた診療情報をベースにし、二次調査を実施した際の情報(年齢、性別、身長、体重、症状、その他合併症、入院歴、内分泌データ、治療、遺伝子検査の結果など)です。

研究の方法

この研究は、ACTH 不応症の患者さんの情報をすでに把握している全国の 20 症例の主治医に、メールで調査に関する協力の依頼を行い、ウェブ (google form)

を用いて、回答を得る予定です。その結果について東京医科歯科大学で解析を行う予定にしています。

個人情報の保護

政府が定めた倫理指針(「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する指針」)に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

情報は、発生発達病態学分野のパスワード設定したパソコンにおいてのみ解析し、施錠可能な部屋でのみ使用します。

- ・ 保管責任者(常勤教職員): 鹿島田 健一
- ・ 保管期間: 本学規定 10 年

情報を提供する機関

宮崎大学	山口秀樹
大阪公立大学	藏城雅文
岩手医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科	瀬川利恵
岩手医科大学 小児科	和田泰格
順天堂大学医学部附属浦安病院	佐藤 博亮
小倉医療センター	的場 ゆか
愛媛大学	松浦文三
熊本大学	近藤龍也
福島県立医科大学	鈴木悟
JA 静岡厚生連遠州病院	大場健司
新潟市民病院	阿部裕樹
山形大学	沼倉周彦
東北大学	菅野潤子
茅ヶ崎市立病院	小田洋一郎

利用する者の範囲 / 各機関以外の外部への提供

厚労科研班「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」(研究班代表者: 慶応大学医学部教授 長谷川泰延)と解析結果を共有する予定です。

研究終了後のデータの扱い

東京医科歯科大学の定める研究活動における不正行為防止規則が定める期間(10年間)保管します。保存期間終了後には個人情報を保護した状態で破棄します。

ただし、ご同意いただければ、情報を保管させていただき、将来、本研究に関連した解析研究に使用させていただきたいと思えます。この場合は、改めて倫理審査委員会にて承認された後、上述したような方法で個人情報の保護に努めます。

研究への参加の同意と不同意について

本研究は原則口頭で患者さんから同意を取得します。

ただしすでに外来から外れているなど同意取得が困難な場合には本掲示をもって、研究参加の拒否の機会を提供します。本研究に参加されない場合は、下記の問い合わせ窓口へのご連絡をお願いいたします。

利益相反について

本研究は厚労科研班、研究分担金を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

「利益相反」とは企業などから研究資金等が提供されることにより、研究結果や結果公表の正当性についての疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

問い合わせ窓口

本研究について疑問などがありましたら、遠慮なくお尋ねください。担当医師または本研究の研究責任者がいつでもお答えします。本研究の遂行に支障がない範囲で研究計画資料の閲覧も可能です。

研究責任者： 東京医科歯科大学病院 小児科 鹿島田健一

TEL：(医局) 03-5803-5249 (ダイヤル)(平日 9:00~17:00)

苦情窓口 医学部総務係 TEL：03-5803-5096

(対応可能時間帯：平日 9:00~17:00)



レセプトおよびDPCデータを用いた 循環器疾患における医療の質に関する研究について

日本循環器学会では、全国的に循環器診療の実態調査を展開して診療実態を具体的な数で把握するためのデータベース構築として「循環器疾患診療実態調査（JROAD）」を行っています。

[対象となる方]

本研究では、2012年4月1日から2025年3月31日に、循環器疾患診療実態調査の対象施設に循環器疾患で入院されたすべての患者様です。

[研究期間]

予定研究期間：倫理委員会承認後～2030年3月31日

[研究の背景]

全国の循環器疾患の診療実態を記述した統計はなく、その診療実態は不明な点が多いと考えられています。諸外国では定期的にデータを取得し、モニタリングを行うことで診療の質を向上させようとする試みがありますが、日本にはまだそのようなデータベースは存在しません。

[研究の目的]

JROAD 調査施設の中からDPC(Diagnosis Procedure Combination；診断群分類)参加病院を対象に、病名や診療行為の明細が含まれたDPCデータを集め、データベースを作成します。得られたデータに基づいて、医療の質を向上するのに必要な情報を循環器学会員へ発信し、循環器診療の質を向上させるための基本的な資料とすることを目的としています。

[研究の方法]

この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(2021年6月30日)」を守り、一般社団法人日本循環器学会の倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。

研究結果は個人が特定できない形式で学会等に発表されます。収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名とそれらのICD-10コード、手術処置名、実施日、使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用情報です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

[データの保存・管理]

収集した元データは国立循環器病研究センターOIC **情報利用促進部**にて厳重な管理のもと保存されます。ご不明な点があれば、下記までお尋ねください。

【外部機関からの情報提供】

日本循環器学会との共同研究機関として国立循環器病研究センターOIC **情報利用促進部**は、日本循環器学会の教育研修施設の調査協力施設の中からレセプトの提供に同意した施設より上記の情報の提供を受けます。

【学術研究目的による外部機関への情報提供】

本研究で得られた試料・情報については、日本循環器学会員が広く循環器診療の質の向上につながる学術目的の研究施行のために使用することができます。その中には学会員との共同研究としての民間による学術目的の研究も含まれます。学術目的の研究を実施する場合には、研究者は日本循環器学会の IT/DB 部会に申請し承認を得る必要があります、そのうえで試料・情報は研究者（研究実施機関）へ提供されます。

・提供される情報項目：DPC・レセプト情報の性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名、入院後合併症病名とそれらの ICD-10 コード、手術処置名、実施日、入院中に使用された薬剤・医療材料、在院日数、退院時転帰、費用です。

[問合せ先]

JROAD 事務局：国立循環器病研究センター OIC 情報利用促進部

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6-1

電話 06-6170-1070

dpc-jroad@ml.ncvc.go.jp

JA 静岡厚生連遠州病院

〒430-0929 静岡県浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号

電話 053-453-1111(代)

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第2.0版）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>●研究の名称 下部尿路症状を有する患者を対象とした後方視的観察研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究機関において、2003年7月から2028年12月までに下部尿路症状（前立腺肥大症・過活動膀胱・腹圧性尿失禁・骨盤臓器脱・神経因性膀胱・間質性膀胱炎など）を有すると診断された方</p> <p>●研究の目的 下部尿路症状は、前立腺肥大症・過活動膀胱・腹圧性尿失禁・骨盤臓器脱・神経因性膀胱・間質性膀胱炎などの多くの疾患で認められ、その患者さんの日常生活に悪影響を及ぼすことが知られています。また、その治療方法は、薬物治療のみならず、生活指導・行動療法や手術療法など多岐に渡ります。そこで、下部尿路症状を有する患者さんを後ろ向きに調査してその臨床的特徴や治療成績について精査し、現在の診療上の問題点を明らかにすることで今後の診療に活用することを目的としています。</p> <p>●研究の期間 2019年3月（倫理委員会承認日）～2028年12月</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
-----------------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第2.0版）

<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：年齢、性別、既往歴、合併症、症状質問票、排尿日誌、排尿機能に関する検査結果、当院で実施した治療内容（薬物治療や手術など）とその経過等を、診療録から収集いたします。</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>●共同研究機関の名称 磐田市立総合病院 泌尿器科 聖隷三方原病院 泌尿器科 遠州病院 泌尿器科 浜松医療センター 泌尿器科 中東遠総合医療センター 泌尿器科 藤枝市立総合病院 泌尿器科</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名</p>	<p>●研究責任者 浜松医科大学医学部泌尿器科学講座 大塚篤史</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話でお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第2.0版）

問い合わせ先	JA 静岡厚生連遠州病院 泌尿器科 研究責任者 海野智之 TEL：053-453-1111（代）
個人情報 取扱責任者	JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強

器質化肺炎合併非特異性間質性肺炎の臨床像に関する多機関共同研究 について

1. 研究の対象

既に承認・実施された多機関共同コホート研究「特発性間質性肺炎の診断・治療および予後における多面的研究※」への参加に同意し、臨床データを使用させていただいた患者さん（2014 年 9 月～2019 年 8 月に当院および本研究の共同研究機関で特発性間質性肺炎と診断された患者さん）

※研究責任施設：浜松医科大学内科学第二講座、浜松医科大学医の倫理委員会承認（第 E14-123 号）、JA 静岡厚生連遠州病院倫理審査委員会承認（2024-02-02）。

2. 研究目的・方法

特発性間質性肺炎は明らかな原因が特定できない間質性肺炎ですが、この中に予後不良な特発性肺線維症（IPF）の他に非特異性間質性肺炎（iNSIP）や特発性器質化肺炎（COP）などの様々な病型が存在します。臨床的な特徴（病気の進行の速さやステロイドなどの治療効果、予後など）はその病型によって異なりますが、iNSIPとCOPの病理組織の特徴は膠原病の確定診断のついた患者様と類似しており、膠原病に関連した間質性肺疾患の発症と関係している可能性が考えられます。また、これらの肺病理組織像にはiNSIPとCOPの両者の特徴を同時に認められることや、膠原病的な疾患背景を持ちつつも確定診断には至らないような間質性肺炎の肺病理組織像の特徴的所見となっていることなどが知られています。しかし、典型的なIPFではなく、かつ病理学的にNSIPとOPの両方のパターンを併せもついわゆる“NSIP with OP overlap”の治療反応性や血清学的因子、画像所見、肺組織所見、疾患の進行及び予後についての検討は不十分であり、長期間に渡って臨床経過を追跡された研究はありません。そのため、経過や病状進行、予後などの特徴についてはよくわかっていないのが現状です。

そこで本研究では、既に承認・実施された多機関共同コホート研究「特発性間質性肺炎の診断・治療および予後における多面的研究※」における集積データを用いて、“NSIP with OP overlap”パターンの症例の臨床背景や血清学的検査、呼吸生理学的検査、画像所見、肺病理組織像を詳細に検討します。疾患進行や予後、臨床データの経年的な推移に関する因子についての特徴を明らかにできれば、新たな疾患概念としての臨床応用ができることが期待されます。

研究期間は、病院長許可日から 2028 年 3 月 31 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 特発性間質性肺炎診断時の病歴、性別、年齢、身体所見、血清自己抗体、肺機能検査、気管支肺泡洗浄 (BAL)、画像所見 外科的肺生検実施例では組織所見
血液学的検査: 白血球数、Hb、血小板、PT、APTT
血液生化学検査: Na、Ca、Cl、P、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、LDH、BUN、Cre、
- 2) 診断時に実施する血液検査
総蛋白、Alb、抗核抗体、リウマチ因子、CRP、赤沈、CPK、アルドラーゼ、C3、C4、CH50、IgG、IgA、IgM、抗 Scl-70 抗体、抗 RNP 抗体、抗セントロメア抗体、抗 Jo-1 抗体、その他、抗 ARS 抗体、抗 CCP 抗体、抗 DNA 抗体 (RIA)、抗 dsDNA 抗体、抗 Sm 抗体、抗 SS-A 抗体、抗 SS-B 抗体、MPO-ANCA、PR 3-ANCA(膠原病チェックリスト参照)
- 3) 診断時の画像所見、外科的肺生検組織所見、浜松医大第2内科で測定した血清マーカー
- 4) 診断から 1 年毎に身体所見や画像所見の変化、膠原病発症の有無、治療反応性、予後

4. 研究組織

〈 共同研究施設 〉

浜松医科大学内科学第二講座（呼吸器内科）
独立行政法人国立医療機構天竜病院呼吸器内科
静岡市立清水病院呼吸器内科
静岡県立総合病院呼吸器内科
静岡市立静岡病院呼吸器内科
聖隷浜松病院呼吸器内科
浜松労災病院呼吸器内科
浜松赤十字病院呼吸器内科
藤枝市立総合病院呼吸器内科
聖隷三方原病院呼吸器内科
静岡赤十字病院呼吸器科
JA 静岡厚生連遠州病院内科

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

JA 静岡厚生連遠州病院

〒430-0929 静岡県浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号

内科（呼吸器） 貝田勇介

電話：053-453-1111（代）

個人情報取扱責任者：

JA 静岡厚生連遠州病院 病院長 大石強

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 特発性間質性肺炎における膠原病的背景が、疾患進行・治療反応性および予後に与える影響に関する臨床病理学的研究：多施設共同、後ろ向き観察研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学および、共同研究機関にて特発性間質性肺炎と診断され、先行研究「特発性間質性肺炎の診断・治療および予後における多面的検討」において登録された患者さん 224 名</p> <p>●研究の目的 先行研究における集積データを 2 次利用し、特発性間質性肺炎症例の臨床情報、血液検査所見、CT 画像所見、肺病理組織所見における膠原病的所見が、疾患進行や治療反応性および予後に関わるかどうかを検討する後ろ向き観察研究です。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 3 月まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（CD、DVD、HD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 臨床情報、血清、CT 画像データ、肺病理組織</p>
<p>《利用する者》</p>	<p>●機関名および責任者名</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>の範囲》</p>	<p>浜松医科大学内科学第二講座（呼吸器内科） 須田隆文 聖隷浜松病院 呼吸器内科 橋本 大 独立行政法人国立病院機構天竜病院呼吸器内科 中村祐太郎 磐田市立総合病院呼吸器内科 妹川史朗 静岡市立清水病院呼吸器内科 増田昌文 静岡県立総合病院呼吸器内科 赤松泰介 静岡市立静岡病院呼吸器内科 山田 孝 浜松労災病院呼吸器内科 豊嶋幹生 浜松赤十字病院呼吸器内科 佐藤雅樹 藤枝市立総合病院呼吸器内科 小清水直樹 聖隷三方原病院呼吸器内科 横村光司 静岡赤十字病院呼吸器科 松田宏幸 JA 静岡厚生連遠州病院内科 貝田勇介</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>該当しない</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学内科学第二講座（呼吸器内科） 須田隆文</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがお自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 浜松医科大学内科学第二講座（呼吸器内科） 担当者： 榎本紀之 TEL： 053-435-2263（内科学第二講座医局） （平日 8：30～17：00） E-mail： norieno@hama-med.ac.jp

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 重度腎機能低下患者のサクビトリルバルサルタン投与時における高カリウム血症発現頻度の多機関共同後方視的研究</p> <p>●研究の対象 2021年7月～2024年6月の間に心不全に対してエンレストが新規に処方された入院患者さん</p> <p>●研究の目的 エンレストは心不全や高血圧の患者に用いられますが、腎機能の低下している患者に対する有効性や安全性についてはまだ不明な点があります。この研究では、エンレストによる治療を受けた患者さんのカルテデータから、腎機能が低下している方でも安全に使用することができるかどうかを明らかにすることを目的としています。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2025年7月まで</p> <p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、電子ファイルを電子メールに添付し送付します。電子ファイルには、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、提供元の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：生年月日、病歴、治療歴、副作用等の発生状況など</p>

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●研究機関名および研究責任者名 焼津市立総合病院 渡部 紘三 浜松医科大学 清水幹裕 静岡市立清水病院 岸山 和樹 静岡県立総合病院 伴 勇介 静岡赤十字病院 杉上 香織 地方独立行政法人静岡市立静岡病院 北島 真利子 菊川市立総合病院 松下 久美 掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター 増田 早紀 社会福祉法人聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院 大石 大祐 浜松医療センター 平野 公美 JA 静岡厚生連遠州病院 石田 紘基</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>●研究代表者 焼津市立総合病院 渡部 紘三</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

<p>《問い合わせ先》</p>	<p>JA 静岡厚生連遠州病院の研究責任者 〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 部署名：薬剤科 担当者：石田紘基 TEL：(053) 453-1111 (代)</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：臨床研究センター 担当者：清水 幹裕 TEL：(053) 435-2006 E-mail：shimizu.mi@hama-med.ac.jp</p> <p>研究代表者 〒425-8505 焼津市道原 1000 番地 焼津市立総合病院 部署名：薬剤科 担当者：渡部 紘三 TEL：(054) 623-3111 E-mail：kouzou.watanabe@hospital.yaizu.shizuoka.jp</p>
-----------------	---

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<p>●研究の名称 泌尿器科希少腫瘍の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究施設において軟部肉腫、傍神経鞘腫、尿膜管癌、副腎腫瘍等の泌尿器科希少腫瘍と診断され、2000年～2025年までの期間に通常診療により手術療法、放射線療法、あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 泌尿器科希少腫瘍に関しては、同じ病気であってもどのような特徴がある場合に治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、未だに不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2025 年 3 月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊恭平 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊恭平</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

「問い合わせ先」	〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院 部署名： 泌尿器科 担当者： 海野 智之 TEL： 053-453-1111（月-金、8:30 - 17:00）
	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 泌尿器科学講座 担当者： 渡邊 恭平 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： kyouhei2@hama-med.ac.jp

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 腎腫瘍の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究機関において腎腫瘍と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により手術療法、放射線療法、あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 腎腫瘍に関しては、手術療法が確立しているものもありますが、特に薬物療法において、どのような特徴がある場合に治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、未だに不明な点が多くあります。また、悪性腫瘍と良性腫瘍の鑑別診断を術前に行うことも重要です。この研究では、これらの検査・治療を受けた患者さんのカルテデータから、鑑別診断の方法や、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2026年 3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 先進ロボット手術開発学講座 特任准教授 本山大輔 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 先進ロボット手術開発学講座 特任准教授 本山大輔</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

「問い合わせ先」	〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院 部署名： 泌尿器科 担当者： 海野 智之 TEL： 053-453-1111（月-金、8:30 - 17:00）
	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 先進ロボット手術開発学講座 担当者： 本山 大輔 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： 07484817@hama-med.ac.jp

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	<p>●研究の名称 男性生殖器腫瘍（前立腺癌・陰茎癌・精巣腫瘍）の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究施設において男性生殖器腫瘍（前立腺癌・陰茎癌・精巣腫瘍）と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により手術療法、放射線療法、あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 男性生殖器腫瘍（前立腺癌・陰茎癌・精巣腫瘍）に関しては、同じ病気であってもどのような特徴がある場合に治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、未だに不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 先進ロボット手術開発学講座・特任准教授 本山 大輔 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 先進ロボット手術開発学講座 特任准教授 本山 大輔</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

「問い合わせ先」	〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院 部署名： 泌尿器科 担当者： 海野 智之 TEL： 053-453-1111（月-金、8：30-17：00）
	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 先進ロボット手術開発学講座 担当者： 本山 大輔 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： 07484817@hama-med.ac.jp

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 尿路上皮癌の診断治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究機関において尿路上皮癌と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により手術療法、放射線療法、あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 尿路上皮癌に関しては、同じ病気であってもどのような特徴がある場合に治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、未だに不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.3 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 田村啓多 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹 神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 古川 順也 産業医科大学 泌尿器科学 原田 健一</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 田村啓多</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

「問い合わせ先」	〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院 部署名： 泌尿器科 担当者： 海野 智之 TEL： 053-453-1111（月-金、8:30 - 17:00）
	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 泌尿器科学講座 担当者： 田村 啓多 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： ktamura@hama-med.ac.jp

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 尿路結石症の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究機関において尿路結石症と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により外科治療あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 尿路結石症に関しては、同じ病気であっても外科治療の選択肢が複数あります。また、尿路結石症は治療だけでなく予防も重要とされています。この研究では、医療の現状を明らかにし、どのような特徴を持つ場合にどの治療が最も有効であるか等を、患者さんのカルテデータから明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療内容、治療効果、再発、副作用等の発生状況 等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊恭平 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊恭平</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

「問い合わせ先」	〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院 部署名： 泌尿器科 担当者： 海野 智之 TEL： 053-453-1111（月-金、8：30-17：00）
	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 泌尿器科学講座 担当者： 渡邊 恭平 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： kyouhei2@hama-med.ac.jp

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 泌尿器感染症の治療成績と予後解析に関する後方視的研究</p> <p>●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究施設において泌尿器感染症と診断され、2000年～2026年までの期間に通常診療により手術療法あるいは薬物療法を受けた方。</p> <p>●研究の目的 泌尿器感染症に関しては、同じ病気であっても原因菌が異なり、どのような治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、外科的治療が必要かどうかなど、未だに不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から 西暦 2026年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.2 版_遠州病院）

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 泌尿器科学講座 准教授 大塚篤史 磐田市立総合病院 泌尿器科 水野卓彌 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 泌尿器科学講座 准教授 大塚篤史</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

《問い合わせ先》	<p>〒430-0929 浜松市中央区中央一丁目 1 番 1 号 JA 静岡厚生連遠州病院</p> <p>部署名： 泌尿器科</p> <p>担当者： 海野 智之</p> <p>TEL： 053-453-1111（月-金、8:30 - 17:00）</p>
	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 泌尿器科学講座</p> <p>担当者： 大塚 篤史</p> <p>TEL： 053-435-2306（月-金、9:00 - 16:00）</p> <p>E-mail： otsuka@hama-med.ac.jp</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.0 版）

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 進行性腎細胞癌の治療法に関する多機関共同コホート研究
	●研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院泌尿器科および共同研究機関と既存試料・情報の提供機関において、進行性腎細胞癌と診断され、2018年～2027年までの期間に通常診療により手術療法、放射線療法、あるいは薬物療法を受けた方。
	●研究の目的 腎腫瘍に関しては、手術療法が確立しているものもありますが、特に薬物療法において、どのような特徴がある場合に治療が効きやすいか、あるいはどの治療が最も有効であるか、未だに不明な点が多くあります。また、悪性腫瘍と良性腫瘍の鑑別診断を術前に行うことも重要です。この研究では、これらの検査・治療を受けた患者さんのカルテデータから、鑑別診断の方法や、どのような特徴をもつ病気に対して、何の治療が最も良いかを明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 西暦 2027 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は電子的配信で行います。データを作成するにあたっては、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人と情報を照合するための表は、提供元の研究責任者あるいは研究分担者が保管・管理します。
≪利用し、又	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第1.0版）

<p>は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>病歴、治療歴、治療効果、再発、死亡、副作用等の発生状況等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名</p> <p>【研究代表機関】 浜松医科大学 泌尿器科学講座 渡邊弘充</p> <p>【共同研究機関】 岐阜大学 泌尿器科 中根慶太 藤田医科大学 腎泌尿器外科学 白木 良一、高原 健 名古屋市立大学 腎・泌尿器科学分野 内木 拓</p> <p>【既存試料・情報の提供機関】 中東遠総合医療センター 泌尿器科 松本力哉 聖隷三方原病院 泌尿器科 古瀬洋 JA 静岡厚生連遠州病院 泌尿器科 海野智之 浜松医療センター 泌尿器科 永田仁夫 藤枝市立総合病院 泌尿器科 伊藤寿樹 松波総合病院 泌尿器科 石田健一郎 大垣市民病院 泌尿器科 宇野雅博 岐阜県総合医療センター 泌尿器科 高橋義人 岐阜市民病院 泌尿器科 米田尚生 大雄会第一病院 泌尿器科 蓑島謙一 中濃厚生病院 泌尿器科 宇野裕巳 藤田医科大学岡崎医療センター 泌尿器科 日下 守 藤田医科大学ばんだね病院 泌尿器科 深見直彦 名古屋掖済会病院 泌尿器科 友澤周平 西知多総合病院 泌尿器科 平野泰広 名古屋記念病院 泌尿器科 西野 将 安城更生病院 泌尿器科 黒川寛史 豊田厚生病院 泌尿器科 橋本良博 海南病院 泌尿器科 窪田裕樹 江南厚生病院 泌尿器科 坂倉 毅 三重北医療センターいなべ総合病院 泌尿器科 安藤亮介 名古屋徳洲会総合病院 泌尿器科 秋田英俊 西部医療センター 泌尿器科 梅本幸裕 東部医療センター 泌尿器科 丸山哲史</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書（第 1.0 版）

<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 泌尿器科学講座 助教 渡邊弘充</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 泌尿器科学講座 担当者： 渡邊弘充 TEL： 053-435-2306（月-金、9：00-16：00） E-mail： urohiro@hama-med.ac.jp</p>